

第23回伊那市地方創生総合戦略審議会 検討事項

項目	資料	該当頁	大項目	中項目	検討事項	1月21日 回答	事務局検討結果
1	総合戦略	10～12	基本目標	表記	基本目標①は基本目標の中の文章とリーディング・プロジェクトが繋がっているが、基本目標②及び③は繋がりが読み取りづらい。 基本目標の中の文章とリーディング・プロジェクトの繋がりを分かりやすくするよう検討いただきたい。	－	基本目標の中の文章を修正した。
2		3	計画の位置付け	用語	「産学官金労言」のうち、「金労言」は何を指すのか。 分かりづらい用語については注記などで補足いただきたい。	「金」は金融界、「労」は労働界、「言」は言論界（マスコミ、メディア）を指す。 分かりづらい用語については、注記などで補足していきたい。	「産学官金労言」については注記で補足した。
3		20	重要行政評価指標（KPI）	農業	KPIにアスパラガスやアルストロメリア、トルコギキョウ等、やまぶどうやブルーベリー以外の特産品についても事業やKPIに取り入れるべきではないか。	総合戦略に全事業を掲載することは難しいが、庁内でも再度協議し、事業の内容等に掲載していきたい。	アスパラガスやアルストロメリア、トルコギキョウ等、やまぶどうやブルーベリー以外の特産品に関する個別の事業内容やKPIは設定していないが、リーディングプロジェクト4の①のKPI「農業産出額」にこれらが含まれている。
4		－	KPI全般	－	KPIについては各部署との整合性を取った上で修正をお願いするとともに、アスパラガスや花きに関する記述も追加いただきたい。	該当頁のKPIが偏ったもののみになっているが、他頁等で有機農業や食育に関するKPIを掲載している部分もある。 修正する中で、KPIを掲載する箇所なども今後見直していく。	KPIについては、事業の内容と合わせて各部署に確認をした上で修正した。 アスパラガスについては、リーディングプロジェクト8の①でKPIとして設定している。 花き（アルストロメリアなど）については、個別の事業内容やKPIは設定していないが、リーディングプロジェクト4の①のKPI「農業産出額」にこれらが含まれている。
5		17	リーディング・プロジェクト3	給食	地産地消・有機食材を導入した自校・自園給食は非常に重要であると考えている。 地域の中での流通が大事になってくるため、海外からの輸出品を食べて、地元のものは外に出ていくということがないよう、積極的に取り組んでいただきたい。		リーディングプロジェクト3の①に明記している。
6				学校登山	学校登山について、県全域として減少傾向にあると認識している。 KPIでは現状維持で継続して実施していくこととなっているが、今後の取り組みがどのような形で進められていくのか。	学校登山の取り組みについては担当課に確認の上、回答する。	学校登山は今後も取り組んでいく予定。 宿泊施設利用や医師・看護師・山岳ガイドの派遣など、必要に応じて支援していく。
7		29	リーディング・プロジェクト9	防災	大規模災害に備えることは非常に重要であるが、大規模災害となると、市だけでなく、広域的な対応が必要となる。 広域的な視点も考えながら計画を進めていただきたい。	－	広域管内自治体・社協・企業等が連携して、孤立しても迅速な支援ができるように地域内の資源等の確保に向けた取組となる「災害時支援ネットワーク」の構築と、その加入団体数の増加について、リーディングプロジェクト9において事業内容に掲げ、KPIを設定している。
8		26、27	リーディング・プロジェクト8	自治会	リーディング・プロジェクトでは自治会の担い手不足についての記載があるが、事業の内容及びKPIにはその対策の記載が見受けられない。 自治会の担い手不足は非常に厳しい状況で、毎年、後継者探しに苦労している。 企業側でも60歳を過ぎ、仕事が多少でも楽になった方に対しては配慮いただきたい。	自治会の持続的な運営は大きな課題と捉えている。 市でも自治会の負担軽減について検討を始めており、自治会の皆様にもご意見をいただきたい。	リーディングプロジェクト8の②の事業の内容に、集落支援員の配置による持続的な自治会運営や自治会の負担軽減について明記している。
9		－	全般	表記	口語的表現が連続している箇所が見受けられる。 文章を読む際に違和感があるため、全体的に文章の表現を再度確認いただきたい。	全体的に確認し、修正していく。	同左

第23回伊那市地方創生総合戦略審議会 検討事項

項目	資料	該当頁	大項目	中項目	検討事項	1月21日 回答	事務局検討結果
10	総合戦略	2、10 他	計画の位置付け、基本目標①、リーディング・プロジェクト2 他	女性の活躍	女性が活躍できる社会という表現があるが、本審議会でも女性が非常に少ない。女性が活躍できる、意見を言うことに対してどのような活動がなされているのか。特に、結婚、出産、妊娠という言葉に対して女性がどのように思っているのか。女性の意見をもっと聞くべきだと感じる。	市でも様々な場で女性の参画を促してはいるが、なかなか実現できていないのが現状である。本審議会でも、できる限り女性が参画いただけるよう環境を整えていきたい。子どもや子育てに関する意見については、社会全体ではなく、地域というより身近な場で一緒に子どもたちを育てていくことを表現として取り入れていきたい。	本審議会を含め、できる限り女性が参画いただけるように引き続き機運醸成を図っていく。また、社会全体ではなく、地域というより身近な場で女性が活躍できる、また子どもたちを育てていく環境づくりを推進していく表現とした。
11				子育て	子育てが楽しいと感じられるように、社会全体で子育てを支え合うという言葉はきれいな言葉だが、その社会全体とはどのような意味を指すのか。多様な人たちが力を合わせて地域の子どもたちを育てるという考え方になっていくべきで、社会全体という言葉ではなく、地域の強さ、協働して育てるというような、一人ひとりが自分事として考えられる表現にしていきたい。		
12					伊那市に帰ってきたい、伊那市で子どもを育てたいと思ってもらうためには、子どものうちに、心のふるさとを養ってあげる必要がある。子育て支援の充実として、人を大切にしたい、子どもや親の心を育てたいというような市民の声を反映していただきたい。		
13	重要業績評価指標（KPI）（案）	－	KPI	区分	前回からの継続項目と新規追加項目が分かるように記載いただきたい。	継続と新規の区分について追記する。	重要業績評価指標（KPI）一覧に、継続・新規の区分を追記した。 ※前回の審議会以降に追加した内容は下線部分
14				周知方法	事業や支援の内容が市民に伝わりやすい方法を考える必要がある。LINEやAIを上手く活用する、フリーペーパーに掲載するなど、方法を検討いただきたい。	市民への発信は、市でも公式LINEを運用していることに加え、フリーペーパーなども活用し、市民の皆様への周知に努めていきたい。	同左
15	全体	－	全般	国、県との整合性	今後、県の信州未来共創戦略などとも整合性を取っていく必要がある。職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度や奨学金に関する県との併用制度、二地域居住への注力などについても検討、追記すると総合戦略に厚みが出るのではないかと感じる。	－	リーディングプロジェクト2の②のKPIに「職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業者数」を追加した。また、二地域居住については、リーディングプロジェクト5の①の事業の内容に追記した。
16				広域的な取り組み	市の発展のためにという視点ではあるが、広域的な連携、整合性を取ることでシナジー効果が出るものについては、取り入れる内容もあるのではないかと。	－	上伊那広域連合や伊那地域定住自立圏等と連携を図りながら、引き続き検討していく。
17			リーディング・プロジェクト	ターゲット	リーディング・プロジェクトに関しても、ターゲットをもう少し明確にすることで、より市民に伝わるのではないかと。このような視点でも検討いただきたい。	－	パブリックコメント等で広く意見を募り、検討していく。
18			市の体制	組織	令和7年度から市の組織として子ども部が創設される。具体的にどのような体制となるのか。	具体的な組織体制については、細かな内容となることから、次回の審議会にて提示させていただく。	第24回の審議会資料にて提示する。